

## 日本共産党 区議会議員



# 石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818  
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2010年10月30日  
ちひろニュースNo.21



## 「救急医療情報キット」

品川区では『自宅で具合が悪くなり、救急車を呼ぶような「もしも…」のときに、高齢者本人に代わって救急隊員に、持病やかかりつけ医などを伝える医療情報の活動支援事業』として、区内の町会・自治会を中心に配布されます。左写真のように、縦長のケースに、①救急情報用紙②健康保険証のコピー③かかりつけ医療機関の診察券コピー④薬剤提供書・お薬手帳コピー⑤写真(本人確認できるもの)を入れて冷蔵庫に保存します。

先日、区議会・厚生委員会で、上記のセットが町会・自治会を中心に配られることが決まりました。まずは1000セット。欲しいひとがみんなもらえるわけではなく、町会・自治会が希望し、ひとつ250円と有料です。「無料にできないか。せめて住民税非課税の人だけでも無料に」と求めましたが、「作業費等もかかるし、初めての事業でどれだけ需要があるかわからない」と。

他の自治体でも始められている事業ですが、どの自治体も無料で配布しています。家族だからといって、詳しい病名や、飲んでる薬の種類や名称まではわからないという人も少なくありません。隣近所の友人でも同じです。『もしものとき』には大変役に立つセットです。高齢者や障害者だけでなく、若い人でも持病があったり、複雑な薬を飲んでいる人もいます。現在は、4町会が希望し、400セットが配られているそうです。

『もしものとき』に心配な人すべてに有効なセットです。また、高齢や障害があっても、町会・自治会とあまり関わりがない人もいます。欲しい人・希望する人みんなに無料で配られるものにしていきたいです。

裏へつづく

# 決算委員会で質問しました

## 初めての決算委員会

決算委員会は、22年度の区のお金の使い方などうだったかを、区長をはじめ、区の理事者（部長）たちと区議会議員全員が議論をするもので、質問→答弁を制限時間の中でくり返します。

日本共産党は、受益者負担、区民への負担増などが横行し、そのような中で黒字財政・健全財政と報告する品川区に物申す唯一の政党です。この決算委員会でも区民の立場で論戦をくりひろげました。

私も、緊張しながらもいくつか質問しました。

## 使いづらくなった助成制度

質問した中の一つ、住宅リフォーム助成制度は、区内中小業者の仕事おこ

しや、受注の拡大を目的に、昨年の緊急経済対策として始められた事業です。リフォームを区内中小業者に頼むと、区から補助金が出るというものです。

その効果は絶大で、経済効果は36倍にまで跳ね上がりました。更に拡充を要請をしていたにも関わらず、この事業は一年で終了しました。

決算委員会で「こんなに効果のあった制度をどうしてなくしてしまったのか」と問うと、「なくしてはいない、エコとバリアフリーに特化して新しくしている」と答弁。

しかし現場の実態は違います。昨年は108件にも上ったリフォーム件数は、今年4月から10月の半年間で23件と激減。

使いづらくなった最大の理由は、助成対象を狭めたことです。

昨年の制度では、実質一般リフォームまで使えるものでしたが、今年はエコとバリアフリーの工事のみが対象です。区は、エコとバリアフリーに絡めて他の工事もできると言いますが、受注の激減が、使えない制度だと物語っているのではないのでしょうか。

## 区民の命を守る住宅

建築業は、区民の暮らしの要の住居を守り・作る大事な産業です。エコとバリアフリーも大事ですから、それとともに一般リフォームにも再び広げ、仕事にもつながり、

区民も喜ぶ制度充実にも私も頑張ります。



# 石田地域・救援復興バザー

とき：11月27日（日）11時～ やります！

場所：すすらん通り浅間台公園

連絡先： 菊地 090-8949-8753  
石田 090-2727-4428

※ 公園内での金銭の授受はいたしません

バザーの品物を集めています。食品類と本類、電化製品は扱いません。すすらん通りの石田ちひろ事務所へお持ちください。